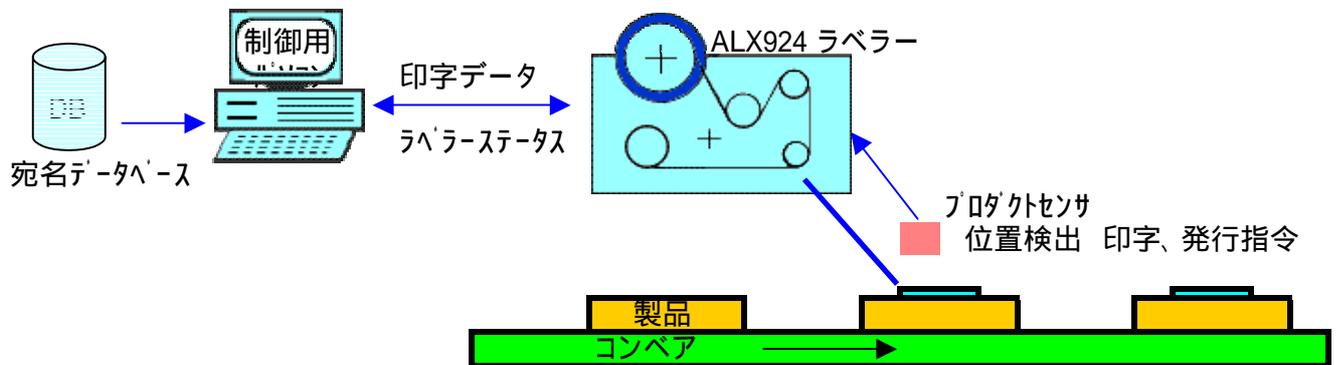


< 事例1 > 宛名ラベル、出荷ラベル等 汎用ラベリングシステム

< システム構成概要 >

ダイレクトメールやカタログ等に、宛名ラベルを印字して貼付を行うシステム事例です。
宛名ラベルに限らず、毎回、印字内容の異なるバーコードラベルを製品に貼付ける場合もそのまま利用する事も出来ます。



DB:宛名データ等のデータベース(LAN上の外部DBやPC内のDB)

制御用パソコン:ALX924ラベルプリンタへの印字データの送信と発行結果のステータス監視を行います。

プロダクトセンサ:ALX924に直接接続することが出来、シーケンサなどの制御回路が不要です。

< 動作の流れ >

- (1)この事例では、制御用パソコンは事前にALX924ラベラーに印字データを送っておきます。
- (2)プロダクトセンサがコンベア上の製品を捉えると、ALX924に発行指令を通知し、ラベル発行と貼付け作業が行われます。

< ラベル発行ユーティリティ「ALX Easyラベル」 >

- ・ALX924ラベラーは(株)ノモス・サイエンスのラベル発行ユーティリティ「ALX Easyラベル」を使用しています。
- ・印字データを扱うソフトウェアおよび制御ソフトウェアは、お客様の環境に応じてカスタムソフトを作成する必要があります。(株)ノモス・サイエンスは、このようなカスタムソフトの開発を行っています。